

## 招待講演

### あなたもできる！ ワークショップデザインを応用した医療人材育成

帝京大学高等教育開発センター 講師  
森 玲奈



病院医療の現場には、院内研修やカンファレンス、勉強会、学会への参加など、フォーマルな学習の機会が多くあると思います。それらが、企画者からの一方的な情報提供に留まらず、参加者と一体になった双方向型の学習環境になれば良いなと思っていられる医療従事者の方は、少なくないのではないのでしょうか。あるいは、院外における医師、看護師、ケアマネジャー、介護士などの多職種間連携をさらに円滑で充実したものにするため、方法を探されている方もおられるのではないかと思います。こういったニーズや課題に対する有効な手法の1つとして、本講演では、ノンフォーマル学習の1手法である「ワークショップ」とそのデザインの仕方についてご紹介します。

「ワークショップ」は、生涯学習時代において多方面から注目される活動形態です。日本では1990年代から演劇教育、開発教育、まちづくり、カウンセリング、ミュージアム教育など、様々な分野で活発な実践が行われてきました。

では、「ワークショップ」とは一体どのようなものなのでしょうか。その本質は、語源である"workshop"（工房、作業場）を意味する言葉から派生していることから伺い知れます。「ワークショップ」は、学習を促す手法であるとともに、その過程において「つくる」活動があるのです。この前提を踏まえ、本講演では、ワークショップを「他者との相互作用の中で何かを創りながら学ぶ学校外での参加型学習活動」と定義します。そして、デザインの方法や実践者育成について、実証研究の知見をもとに具体例を交えながらお話しします。

皆様が現場で役立てていただけるような話題提供をと考えております。当日、広島大学で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

## ■ 略歴

森 玲奈 (もり・れいな)

帝京大学高等教育開発センター講師。博士 (学際情報学)。

東京大学大学院学際情報学府博士課程満期退学。東京大学大学院情報学環特任助教を経て現職。

学び続ける人とそれを包み込む社会に関心を持ち、生涯学習に関する研究と実践を続けている。現在は、エイジング (個人の高齢、社会の高齢化) に関する諸問題を、生涯学習の課題として捉え、研究・実践を行うことを目的とした「<ラーニングフルエイジング>プロジェクト」を推進している。

2008年度日本教育工学会研究奨励賞受賞。2010年度日本教育工学会論文賞受賞。NPO 法人 Educe Technologies 理事。主な著書に『ワークショップデザインにおける熟達と実践者の育成』(単著、ひつじ書房)、『ワークショップデザイン論：創ることで学ぶ』(共著、慶應義塾大学出版会)、『ラーニングフルエイジング：超高齢社会における学びの可能性』(編著、ミネルヴァ書房、近日刊行) などがある。

個人 HP : <http://www.harinezuminomori.net/>

<ラーニングフルエイジング>プロジェクト HP : <http://learningful-ageing.jp/>